

試合番号 : 166	試合会場 : サントリー箕面トレーニングセンター体育館	観客数 : 0
開始時間 : 13:00	終了時間 : 14:54	試合時間 : 01:54
主審 : 村中 伸	副審 : 江下 毅	
サントリーサンバーズ 通算 19勝 2敗 ポイント : 53	20 第1セット 25 25 第2セット 20 25 第3セット 21 25 第4セット 16 第5セット	東レアローズ 通算 10勝 10敗 ポイント : 27
監督コメント 試合の入りが特別悪かったという感じはなかったが、東しの強いサーブと粘り強いレシーブに苦しめられました。第2セット以降、相手の特徴にうまく対応できたことが勝因だったと思います。明日も東しとの試合があるので、もう一度準備をして挑みたいと思います。明日が箕面トレーニングセンターでの最後の試合になりますので、勝利で終わらされるよう頑張りたいと思います。本日もリモートで応援をいただいた皆様ありがとうございます。引き続きサンバーズをよろしくお願いたします。	3	1 監督コメント 首位のサントリーとの対戦ということで、まずは気持ちで負けないよう、入りを大事にしていくという意識をしました。第1セットはサーブも走り、良いバレーができました。しかし第2セット以降はここぞという場面でのミスが出てしまい、苦しい戦いになってしまいました。やはり首位のチーム相手に大事な場面でのミスは致命傷となるので、明日に向けて修正していきたいと思ひます。リモートマッチではありましたが、応援ありがとうございました。
要約レポート 現在10連勝中のサントリーサンバーズが東レアローズを迎えて挑むホームゲーム。第1セット、東しは中盤に鈴木、バダルのサービスエースで大きく流れを引き寄せると、終盤は高橋の連攻が次々と決まりセットを先取した。第2セット、サントリーは東しのサーブに苦しめられるも、ムセルスキーが強烈なスパイクを決め、徐々にペースを取り戻し、セットを取り返した。第3セット、サントリーは序盤から柳田のサービスエース、高速バックアタックで点差を突き放す。東しはバダルのボールを集め、終盤に猛攻を見せるも、サントリーはムセルスキーのスパイクで逃げ切り、セットを連取する。第4セット、サントリーの勢いは止まらず、センター小野のブロックなどで大量リードを奪う。東しは途中交代で入った星野、落合が気迫あふれるスパイクでチームを鼓舞するも、サントリーは全員バレーでセットを取り、11連勝を飾った。		

試合番号 : 171	試合会場 : ユメックスアリーナ (塩尻市総合体育館)	観客数 : 490
開始時間 : 15:00	終了時間 : 16:16	試合時間 : 01:16
主審 : 服部 篤史	副審 : 原 啓之	
VC長野トライデンツ 通算 3勝 20敗 ポイント : 12	22 第1セット 25 17 第2セット 25 21 第3セット 25 第4セット 第5セット	堺ブレイザーズ 通算 12勝 11敗 ポイント : 35
監督コメント ホームでの連敗を止めるためにしっかり気持ちを切り替え準備してきましたが、終盤にゲームをコントロールされてしまい、ストレート負けとなりました。やりたいこと、やろうとしていることをしっかり繋げることが今は大事だと思います。明日もホームでの試合になります。最高のパフォーマンスを出せるよう頑張ります。本日は熱い応援ありがとうございました。	0	3 監督コメント レセプション、トス、スパイクすべて安定しており、引き締まったゲームができました。ジョンの決定本数は特に多く、また、関田も集中してゲームをコントロールすることができていたと思ひます。地元長野で素晴らしいプレーをしていた松本選手には拍手を送りたいと思ひます。本日も沢山の応援ありがとうございました。
要約レポート 塩尻市に堺ブレイザーズを迎えてVC長野トライデンツのホームゲーム。第1セット、ジョンを中心にセッター関田が全員をうまく使って攻撃する堺に対し、VC長野はサイド攻撃やバックアタックで対抗し、中盤まで競った展開になる。ミスの少なかった堺が、最後は鶴野のスパイクでセットを奪った。第2セット、堺は相手を崩すサーブから、松本、出葉田がブロックを決めVC長野を突き放す。最後はジョンがスパイクを決め、セットを連取した。第3セット、セッター関田を中心に全員攻撃をする堺に対し、VC長野は両サイドだけではなく、センター中村のクイックも交えた攻撃で対抗し、中盤まで競った展開になる。堺は相手のスパイクをレシーブで繋げて得点を重ねると、最後はジョンがブロックを決めて、12勝目を挙げた。		

試合番号 : 174	試合会場 : 広島グリーンアリーナ (広島県立総合体育館)	観客数 : 780
開始時間 : 13:00	終了時間 : 14:50	試合時間 : 01:50
主審 : グレグ ルーオー	副審 : 本間 明	
JTサンダース広島 通算 11勝 12敗 ポイント : 35	21 第1セット 25 25 第2セット 18 25 第3セット 17 25 第4セット 21 第5セット	大分三好ヴァイセアドラー 通算 2勝 21敗 ポイント : 9
監督コメント 本日も沢山の応援をいただきありがとうございます。第1セットに大分三好の好サーブに押されて、セット後半にサーブレシーブが乱れてしまいました。第2セット以降は、逆にサーブでプレッシャーをかけ、ブロックなどで切り返して、セットを取ることができました。明日も全員で頑張ります。ご声援よろしくお願いたします。	3	1 監督コメント 第1セットを先取し、いい流れで入っていったゲームでしたが、第2セット以降はJT広島のサーブが走り、連続失点が敗因になったと思ひます。その中でも、明日に繋がるプレーはあったと思うので、しっかり修正して挑みたいと思ひます。本日も応援ありがとうございました。
要約レポート ホームゲームで勝利し勢いに乗りたいたJTサンダース広島と、前週2連勝し勢いに乗る大分三好ヴァイセアドラーの一戦。第1セット、序盤にJT広島はエドガー、陳、新井の攻撃でリードするが、大分三好もストックトン、山田、バグナスの攻撃で終盤まで互角の展開を繰り返した。そこから大分三好はバグナスがアタックを決めると、さらにストックトンのサービスエースでリードを広げ、セットを先取した。第2セット、JT広島はセッター深津の繰り広げるトスワークに安永、小野寺、エドガーの攻撃でリードした。大分三好もバグナス、大西、山田の攻撃で追いつく。中盤、JT広島はルーキー新井が高さある強烈なサーブでリードを広げ、最後はエドガーが強烈なサーブを決めてセットを奪い返した。第3セットもJT広島が小野寺、新井のブロックや陳のサービスエースで大きくリードを広げた。大分三好はストックトンから古賀に代え、流れを引き戻そうと古賀、大西の攻撃で粘るが及ばず、勢いそのままにJT広島がセットを連取した。第4セット、後がない大分三好はリベロ久保田の好レシーブから山田の技のあるアタックで追いつく。しかし、JT広島は新井のコースを狙った技のあるアタックやエドガーのサービスエースなどで少しづつリードを広げていく。さらに、陳、エドガーの攻撃で得点を重ね、JT広島がホームで勝利を飾った。		

試合番号 : 177	試合会場 : ユメックスアリーナ (塩尻市総合体育館)	観客数 : 0
開始時間 : 11:00	終了時間 : 12:18	試合時間 : 01:18
主審 : 澤 達大	副審 : 高橋 宏明	
FC東京 通算 6勝 16敗 ポイント : 22	20 第1セット 25 19 第2セット 25 23 第3セット 25 第4セット 第5セット	パナソニックパンサーズ 通算 17勝 6敗 ポイント : 50
監督コメント パナソニックのブロックとディフェンスにプレッシャーをかけられ、オフエンス面が機能したとはいえない状態であった。また、要所要所でつなぎがスムーズにいかず、ラリーを逃した場面が多々あった。今日出た課題を改善し、明日こそ勝利をもぎ取りたい。本日も応援ありがとうございました。	0	3 監督コメント 今日大事な試合でした。第3セットの途中までいいプレーをしていましたが、第3セットの後半に集中力が切れてしまいました。しかし、3-0で勝つことは良かったです。明日は今日と比べて違う試合になると思うので明日に向けて頑張ります。応援よろしくお願いたします。
要約レポート リモートマッチで行われたFC東京とパナソニックパンサーズの対戦。ランキング上位のパナソニックが終始リードで試合を進めた。第1セット序盤、攻撃力に勝るパナソニックがリードするが、FC東京は長友のライト攻撃で追いつく。中盤、FC東京は15-16まで追いつき、両者流れをつかみきれないまま、一進一退の攻防となる。終盤、パナソニックは清水の攻撃とブロック、クビアックの攻撃でFC東京を突き放し、セットを先取した。第2セット序盤、パナソニックは清水、山内の攻撃で流れをつかむ。中盤、FC東京は佐藤のナイスレシーブとファイブプレーで流れを変え、14-16まで点差を詰めるが、パナソニックは力のある攻撃陣を多彩に使うセッター深津のトス回しが冴え、最後は清水がアタックを決め、セットを連取した。第3セット、勢いに乗ったパナソニックは攻撃力を生かしリードを広げる。FC東京はフレモビッチにボールを集めて対抗する。終盤は2点差までもつれたが、パナソニックは清水、山内が要所でアタックを決め、セットカウント3-0でこの試合を勝利した。		